

第14回（令和元年度）

鶴岡市芸術祭参加公演総括表

（42公演51団体の実施報告のまとめ）

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会

目次

1. 鶴岡市芸術祭のための会議等	……	1 ページ
2. 参加公演実施状況一覧	……	2 ～ 4 ページ
3. 鶴岡市芸術祭賞受賞団体一覧	……	5 ページ
4. 参加公演実施団体による反省点と来年度への抱負	……	6 ～ 12 ページ
5. 各地域文化祭(協賛事業)実施状況一覧	……	13 ページ
6. 各地域文化祭(協賛事業)の反省点と来年度への抱負	……	14 ～ 16 ページ
7. 鶴岡市芸術祭参加公演数等の推移	……	17 ～ 18 ページ
8. 関連事業など	……	19 ページ

新たな元号「令和」がスタートした記念の年に開催された「第14回鶴岡市芸術祭」。開幕式典も初めて「荘銀タクト鶴岡エントランスホール」で開催され、鶴岡土曜会混声合唱団の素晴らしい歌声と共に、華々しく芸術祭の開幕を飾りスタートしました。3ヶ月余りにわたり行われた芸術祭は、参加51団体42公演の素晴らしい展示や公演を無事に終えることができました。

2020年は、いよいよ世界的スポーツの祭典、東京オリンピックが開催されます。芸術文化においても、益々発展と希望に溢れ、また来年度の鶴岡市芸術祭も加盟団体の皆さまの日頃の研鑽の成果が、いかに発揮される機会となるよう祈念しております。



1. 鶴岡市芸術祭運営推進のための会議等

❖ NPO芸術文化協会 芸術委員会

- ❖ 第1回 令和元年 6月11日(火) 午前11時～(アートフォーラム) 芸術祭開催について
- ❖ 第2回 令和元年 7月11日(木) 午前11時～(アートフォーラム) 芸術祭参加公演つつについて
芸術祭協賛金・開幕式典について
- ❖ 第3回 令和元年12月 6日(金) 午後 1時～(アートフォーラム) 芸術祭賞授賞団体の決定について
- ❖ 第4回 令和 2年 2月26日(水) 午前10時～(アートフォーラム) 芸術祭の総合反省について(総括等)

❖ 第14回鶴岡市芸術祭開幕式典

- ❖ 日 時 令和元年9月1日(日)午前11時～
- ❖ 会 場 荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館) エントランスホール
- ❖ 参加人数 129 名

❖ 閉幕のつどい

- ❖ 日 時 令和元年12月21日(土)午後2時～
- ❖ 会 場 東京第一ホテル鶴岡 鳳凰の間
- ❖ 参加人数 176 名

❖ 参加公演～特別参加含む～

- ❖ 参加公演数 42公演(県参加 28公演)
- ❖ 参加団体数 51団体(県参加 36団体)
- ❖ 参加人数合計 3,070 名
- ❖ 入場者数合計 24,309 名

❖ 協賛者

- ❖ 協賛者数 752件
(個人、企業、団体等)
- ❖ 協賛金合計金額 1,557,000円

❖ 賛助公演

- ❖ 1公演

❖ 協賛事業

- ❖ 5地域

❖ 芸術祭賞選考委員会 (芸術祭賞選考委員21名)

- ❖ 委員長 : 小林 達夫
- ❖ 副委員長 : 後藤 和夫、小林 良市
- ❖ 委員 : 小林 功、久保田 豊、堀 公明、藤間静貴久、伊達 克夫
佐藤 晃、佐藤 政一、市川 清治、五十嵐重良、佐藤 宗偉
小澤 紀美、三浦 恒祺、日向 常浩、佐藤よし子
梅津 芳春、柿崎 泰裕、小林 宗健、榊原 賢一
- ❖ 第1回選考委員会 令和元年 7月11日(木) 午後1時30分～(アートフォーラム)
- ❖ 第2回選考委員会 令和元年12月 3日(火) 午後2時～(アートフォーラム)
- ❖ 部門別小委員会 邦楽、日舞、民謡・民舞、吟詠部門 : 11月28日(木)
洋楽部門 : 12月1日(火)
洋舞・演劇部門 : 11月25日(月)
展示・茶道・華道部門 : 11月28日(木)
文芸部門(民俗芸能部門含む) : 11月4日(月)
大衆芸能部門 : 10月21日(月)

❖ 芸術祭賞

- ❖ 大 賞
 - 鶴岡剣聖会「剣と扇の舞」 〈主催 : 剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会〉
- ❖ 優秀賞(7団体) ～芸術祭参加公演順～
 - 第50回錦心流琵琶鶴岡支部演奏会 〈主催 : 錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部〉
 - 鶴岡ウインドオーケストラ・秋の公演 2019 オータムコンサート(第3回定期演奏会) 〈主催 : 鶴岡ウインドオーケストラ〉
 - 一東書道会鶴岡支部俳雅会 37周年かな書作展 〈主催 : 一東書道会鶴岡支部俳雅会〉
 - ハウオリフラスタジオ14周年公演 〈主催 : ハウオリフラスタジオ〉
 - 第56回各流派合同いけばな展 〈主催 : 鶴岡市いけばな7流派〉
 - 鶴岡吹奏楽団 第35回定期演奏会 〈主催 : 鶴岡吹奏楽団〉
 - 表現舎刻一刻 第18回公演 新・曾根崎心中 〈表現舎刻一刻〉

2. 参加公演実施状況一覧

(公演順)

第14回鶴岡市芸術祭特別参加団体公演

※協賛者証入場者数は報告書に記載分のみ掲載

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品作 品数	入場者 (延)数	協賛者証 入場者数
特1	第71回 荘内書道展覧会	鶴岡書道会	11/1(金)~11/4(月)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	1,200	1,200	2,400	
特2	鶴岡土曜会混声合唱団 第68回定期演奏会	鶴岡土曜会混声合唱団	11/30(土)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋楽	鶴岡	○	60	-	838	47

第14回鶴岡市芸術祭参加団体公演

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品作 品数	入場者 (延)数	協賛者証 入場者数
1	創立95周年・令和元年度白夔社美術展(公募)	白夔社	9/1(日)~9/12(木)	アートフォーラム	有料	展示	鶴岡	○	134	165	2,343	335
2	第1回 田川民話の会 語り市 んだば、語てみっかの。家根合宿	田川民話の会	9/11(水)	庄内町第一学区 家根合ふれあいあ い ホ ー ム	無料	民俗芸能	鶴岡		10	-	60	0
3	第50回錦心流琵琶全国一水会 鶴岡支部	錦心流琵琶全国一水会 鶴岡支部	9/15(日)	中央公民館	無料	邦楽	鶴岡	○	11	-	330	
4	第86回つるおか小品盆栽展	鶴岡小品盆栽会	9/20(金)~9/22(日)	中央公民館	無料	展示	鶴岡	○	10	100	210	
5	あつみ作品展	粕谷書道教室ほか	9/20(金)~9/23(月)	温海ふれあい セ ン タ ー	無料	展示	温海		30	80	200	
6	第55回「さゞ波会 民謡と舞踊のつどい」	さゞ波会	9/22(日)	中央公民館	無料	民謡・民舞	鶴岡	○	25	34	350	
7	鶴岡ウインドオーケストラ・秋の公演2019 オータムコンサート(第3回定期演奏会)	鶴岡ウインドオーケストラ	9/23(日)	中央公民館	無料	洋楽	鶴岡	○	40	-	350	5
8	ViViバレエスタジオ バレエコンサート・小品作品集	ViViバレエスタジオ	9/26(木)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋舞	鶴岡	○	16	-	400	80
9	第41回記念 佳陽会日本画展	佳陽会	10/1(火)~10/6(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	14	30	718	
10	一東書道会鶴岡支部畊雅会 37周年かな書作展	一東書道会鶴岡支部 畊雅会	10/4(金)~10/6(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡		20	54	292	
11	表千家流茶会	表千家同門会 山形県支部庄内地区	10/6(日)	致道館	有料	茶道	鶴岡		30	-	281	14

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品作 品数	入場者 (延)数	協賛者証 入場者数
12	遠州流茶会	遠州流茶道山形支部	10/6(日)	アートフォーラム	有料	茶道	鶴岡		58	-	223	13
13	山形県大正琴・文化箏愛好会 山琴箏会(さきそうかい)第31回公演	山形県大正琴・文化箏愛好会	10/6(日)	中央公民館	無料	邦楽	鶴岡	○	60	-	250	10
14	ハウオリプラススタジオ14周年公演	ハウオリプラススタジオ	10/6(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋舞	鶴岡		85	-	650	5
15	フォトサロン写楽 写真展覧会	フォトサロン写楽	10/10(木)~10/14(月)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	8	79	578	8
16	第30回鶴岡和紙ちぎり絵サークル展	鶴岡和紙ちぎり絵サークル	10/10(木)~10/14(月)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	20	100	830	13
17	第57回鶴岡市合同短歌会	第57回鶴岡市合同短歌会 実行委員会	10/13(日)	鶴岡市立図書館	有料	文芸	鶴岡	○	45	-	45	
18	裏千家 秋の茶会	茶道裏千家淡交会 庄内支部鶴岡地区	10/13(日)	出羽庄内国際村	有料	茶道	鶴岡		70	-	250	10
19	第56回各流派合同いけばな展	鶴岡市いけばな7流派	10/19(土)・10/20(日)	アートフォーラム	有料	展示	鶴岡	○	164	176	2,626	65
20	第32回庄内なつメロ会チャリティ発表会	庄内なつメロ会	10/20(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	大衆芸能	鶴岡		38	-	520	158
21	八沢会 唄と踊りのつどい	八沢会	10/20(日)	中央公民館	有料	民謡・民舞	鶴岡		30	-	700	25
22	日本九重流朝暘清吟会 第140回大会 構成吟「親と子の情愛を詠ず」	日本九重流朝暘清吟会	10/20(日)	東京第一ホテル鶴岡	無料	吟詠	鶴岡		45	-	235	
23	第26回 庄内写真研究会写真展	庄内写真研究会	10/23(水)~10/27(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	7	70	817	4
24	NHK文化センター写真教室写真展	NHK文化センター 写真教室	10/23(水)~10/27(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	18	92	611	11
25	第26回 飛雲会展	書道研究飛雲会	10/24(木)~10/27(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	23	15	450	30
26	如月会水墨画展	如月会	10/24(木)~10/27(日)	中央公民館	無料	展示	鶴岡	○	15	50	212	
27	朝日俳句・短歌・川柳合同展	朝日俳句の会ほか	10/26(土)~11/4(月)	朝日中央コミセン すまいる	無料	文芸	朝日		259	286	470	
28	日本九重流鶴城清吟会 第43回吟詠大会	日本九重流鶴城清吟会	10/27(日)	中央公民館	無料	吟詠	鶴岡	○	160	-	350	0

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品作 品数	入場者 (延)数	協賛者証 入場者数	
29	第7回 フォト・アイ写真展	フォト・アイ	10/30(水)~11/4(月)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	8	56	997	21	
30	みんなの音楽会 「鶴岡放送児童合唱団定期演奏会」	鶴岡放送児童合唱団	11/2(土)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡	○	30	-	418	6	
31	吉統舞踊学園 現代舞踊公演	吉統舞踊学園	11/3(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋舞	鶴岡	○	45	-	750	15	
32	鶴岡吹奏楽団 第35回定期演奏会	鶴岡吹奏楽団	11/4(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋楽	鶴岡	○	49	-	460	25	
33	秋季さつき盆栽展	鶴岡さつき盆栽研究会	11/15(金)~11/17(日)	中央公民館	無料	展示	鶴岡		13	72	220	25	
34	劇団だいこん座 第79回公演 「ゆめのしろ」~少女が変えた奇跡の物語~	劇団だいこん座	11/16(土)	中央公民館	有料	演劇	鶴岡	○	20	-	380	19	
35	表現舎刻一刻 第18回公演 新・曾根崎心中	表現舎刻一刻	11/23(土)・11/24(日)	中央公民館	有料	演劇	鶴岡	○	26	-	454	36	
36	宝生流 観世流合同謡曲大会	宝生流鶴岡五雲会 庄内謡曲愛好会	11/24(日)	第一学区コミセン	無料	吟詠	鶴岡		20	-	40	5	
37	パウムクーヘン オータムコンサート	パウムクーヘン	11/24(日)	荘銀タクト鶴岡	無料	洋楽	鶴岡	○	104	-	650	11	
38	鶴岡剣聖会「剣と扇の舞」	剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会	11/24(日)	荘銀本店ホール	無料	吟詠	鶴岡		22	-	330	16	
39	第12回 写団はぐろ会員写真展	写団はぐろ	11/28(木)~12/1(日)	アートフォーラム	無料	展示	羽黒	○	8	73	371		
40	スイング・クレインズ・ジャズ・オーケストラ 第20回定期演奏会	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ	12/1(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋楽	鶴岡	○	20	-	650	75	
								R元年度(第14回) 合計	28	3,070	2,732	24,309	1,087

3. 鶴岡市芸術祭賞受賞団体一覧

※優秀賞:芸術祭参加公演順

	公演名	主催	代表	部門	受賞理由
大賞	鶴岡剣聖会 「剣と扇の舞」	剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会	佐藤 昌直	邦楽、日舞、 民謡・民舞、 吟詠部門	企画・構成ともに優れた内容で、時代考証を巧みに取り入れた舞の解説・紹介、舞の表現もはつきりしており、観客を魅了する素晴らしい公演でした。全体的にまとまりがあり充実した内容で、ステージを有効に使用しての公演は、心技体を感じさせて見事であり、会場を埋めた市民にとっても大きな感動を与えてくれました。
優秀賞	第50回錦心流琵琶 鶴岡支部演奏会	錦心流琵琶全国一水会 鶴岡支部	市川 清治	邦楽、日舞、 民謡・民舞、 吟詠部門	50年の節目に当たる今年の演奏は、内容も豊富で出演者の力量と相まって情熱が一層強く感じられる公演でした。今までにない企画として、和洋楽器と語りと歌のコラボレーションの創作琵琶「ふるさと讃歌」は、聴衆の心をとりにした素晴らしい内容でした。
	鶴岡ウインドオーケストラ 秋の公演 2019 オータムコンサート (第3回定期演奏会)	鶴岡ウインドオーケストラ	加藤 聡	洋楽部門	会場は沢山の観客で埋まり、総勢36名、選曲内容も演奏者の技量も、パワーに溢れ優れた演奏会でした。衣裳も統一され、指揮者と一体となった演奏は聴き応えがあり感動を与えてくれました。演奏も年々向上しており、コンサートは確かな足取りを示していました。地域に密着した愛される楽団の今後が楽しみです。
	一東書道会鶴岡支部 畊雅会37周年 かな書作展	一東書道会鶴岡支部 畊雅会	阿部 律子	展示・茶道・ 華道部門	畊雅会は設立37周年、「仮名の基本を古典に学ぶ」を原点に掲げています。出展品数は54点。秀作も多く、色紙、全懐紙、扇子などの作品形体も多様。元号「令和」に合わせ、万葉集を題材にした作品もあり共感できました。主催者による作品紹介も柔和で、たおやかな雰囲気会場を包んでいました。
	ハウオリ フラスタジオ 14周年公演	ハウオリ フラスタジオ	ハウオリ マルヤマ	洋舞・演劇 部門	青い海、青い空を背景に、シュロの木を左右に置いた、明るい南国風の舞台に、ゆったりしたメロディ。子供から大人まで総勢60名が25曲を、一条乱れず色々なダンスに挑戦していました。結成14周年、幸せと喜びを分かち合いながら仲間を増やし、心身ともに癒される笑顔と優しさのあるフラダンスに、会場一杯の観客も温かなムードに包まれていました。
	第56回各流派 合同いけばな展	鶴岡市いけばな7流派	(担当) 栖草流 庄司 栖和	展示・茶道・ 華道部門	会場アートフォーラムの1階・2階を区割りし、各流派が特徴際立つ展示構成に取り組み、観客と各流派展示者との会話も弾んでいました。出瓶者は160名。2日間の入場者は、約2,500名を数えました。合同いけばな展は、各流派競技の場でもあり共励の機会にもなっています。芸術祭中枢の催事であり、継続開催と更なる発展を期待します。
	鶴岡吹奏楽団 第35回定期演奏会	鶴岡吹奏楽団	前田 政文	洋楽部門	伝統あるこの団は35回の定期演奏会を迎えました。常連の観客を有しての活動は見事なものです。幅広い年齢層を抱えた団の演奏は、パートのバランスも良く重厚で、また音響も伸びやかで質の高い演奏を堪能できました。地域で交流をもちながら、地元根付いたバンドとしての今後の活躍を期待します。
	表現舎刻一刻 第18回公演 新・曽根崎心中	表現舎刻一刻	佐藤 正一	洋舞・演劇 部門	「近松」の難しい古典物を思い切って現代風にアレンジ、その意欲が伝わってきました。新人の若さ溢れる演技、ベテランの味のある芸が相まって盛り上がり、見事な舞台でした。心中の暗さを明るく楽しいものに作り上げ、装置・照明・衣裳・人形・振付・小道具・メイク等々で古典の雰囲気も充分に出し切って、観客に劇の面白さを堪能させてくれました。

4. 参加公演実施団体による反省点と来年度への抱負

※公演内容は、芸術祭参加申込み時点での予定であり、実際の公演内容とは異なる場合があります。

第14回鶴岡市芸術祭特別参加団体公演

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
特1	第71回 荘内書道展覧会	幼児から中学校まで課題があり、高等学校は自由とし、応募している	鶴岡書道会	前年度より、約100点くらい少ない出品でした。何が原因か、検討してみたいと思っています。ただ、昨年より、400人も入場者が多く、嬉しいことでした。	多くの出品数、出品者を見込みたいので、実施要項の配布時期を早めたい。
特2	鶴岡土曜会混声合唱団 第68回定期演奏会	“うたのオリンピック”と題して、世界の名曲を演奏します 日本の合唱曲もふくめて合唱を楽しんでください	鶴岡土曜会 混声合唱団	来年オリンピックで世界中の人が集まるのを前に、世界のうたを合唱で楽しんでいただくことができました。全国から合唱人が集まったコロフェスタ、コンクールと忙しい日々でしたが、無事、演奏会を開催できました。	合唱のまち鶴岡で、たくさんのお客様と共に演奏会ができました。11月初めのコロフェスタでも鶴岡の合唱文化を感じました。この地に根ざした活動で、これからも鶴岡を合唱で盛り上げていきたいと思ひます。

第14回鶴岡市芸術祭参加団体公演

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
1	創立95周年 令和元年度白甕社美術展 (公募)	種目:絵画(日本画・油彩・水彩・パステル・アクリル・鉛筆・コラージュ・版画)	白甕社	白甕社は記念すべき令和元年に、創立95周年記念を実施することが出来ました。大正13年創立以来、継承できたことを誇りに思うと共に支えて下さった地域の皆様様に深く感謝申し上げます。年々、出品数の減少等危惧する点は多々ありますが、出品作合計168点、いずれ劣らぬ力作、秀作揃いで充実した記念となり、良表を得て終了できました。	現在の少子高齢化社会情勢は、白甕社にも多大な影響が顕著に生じております。記念展目前に重要な会員が他界、又は健康上、退会する。長い歴史に寂しさを感じますが、新しい令和の時代を、若手会員が積極的に活動を開始しました。公募展の先頭に立った活動は、誠に明るい喜ばしいことでした。年々活動は困難になりつつありますが、彼等若い会員を中心に会員一同、一層切磋琢磨し創立100周年記念に向かって邁進する覚悟です。
2	第18回田川民話の会 語り市 んだば、語てみっがの。 家根合宿	地元に昔から伝わる“先人の知恵、民話語り	田川民話の会	放課後「学童」として過ごす子供たちに先祖からの贈り物、民話に親しんでもらい、聞くから一歩先の語りまで行ければ当会の目的に沿うのだが、如何せん日常会話には方言が薄れ、共通語が本流で、折角の味を出すには時間要。	先代から受け継いでいる語りを、次世代にお渡しする事が民話を学ぶ私共の大きな使命である。しかし、現世は生活様式も価値観も大きく変わり、他部門とのコラボ表現もしくは聞き手の年齢層別公演で生きる事も一策か。
3	第50回 錦心流琵琶鶴岡支部 演奏会	錦心流琵琶12曲(川中島、茨木、勸進帳、杉山廉女、白虎隊、荘内藩十七代源忠明公等、本能寺、ふるさと讃歌)	錦心流琵琶 全国一水会 鶴岡支部	初めての合唱、洋楽とのコラボレーションによる琵琶演奏は、琵琶本来の響きとともに異種の各楽器の音色をも引き立てたし、また、合唱曲を加えた「ふるさと讃歌」は奥深い味わいのある演奏ができました。	来年も異種楽器等とのコラボレーションを続けてみたいと思ひます。初心者の育成、楽しい演奏会になるよう、企画していきたいと思ひます。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
4	第86回つるおか小品盆栽展	小鉢に植えた樹高20cm以内の盆栽を飾り台に配置し初秋の情景を表現、展示総数約100点を展示	鶴岡小品盆栽会	会員各々日常楽しみながら育て、数年かけた成果の発表として初秋の情景を表現してみました。来場の皆様からは「小さな鉢でも樹が生きとして生命力が感じられますね」との評価いただきました。	会員の高齢化と趣味の多様化により、このところ会員数の増加がみられません。同好者を増やし、もっと書きのある活動を目指します。
5	あつみ作品展	書、陶芸、水墨画、写真、生け花、絵手紙等の展示	粕谷書道教室ほか	6月に発災した山形県沖地震のため、温海芸文協会員も多数被災し、また会場である温海ふれあいセンター建物も被災している状況で、今年度の開催も危ぶまれたが、会員より作品を出品していただけたことは、温海文化祭の開催につながる機会であった。	会員の高齢化が進んできているが、ここにきて新しい方々にも参加してもらえるように、鋭意努力していきたい。
6	第55回「さゞ波会 民謡と舞踊のつどい」	伝承文化の「民謡」を、普及・芸術性にも重点を置く。子供達の民謡参加が楽しみ。民謡25番、踊り15番	さゞ波会	前年に比べて客席に空席が目立った。宣伝に入場券を発行しないので、客数の予想がつかない。丁度、台風の予報と重なり、心配した通り客足に影を落とした。会員一同、日頃の練習の成果を出し切った。	伝承文化の伝承者として、使命感をもって諸事にあたる。故に、花嫁行事、民謡教室は続けて行きたいし、入場料金の無料も続けたい故、タクトでは無理、中央公民館にお世話にならざるおえない。会員みんなの心意気で！
7	鶴岡ウインドオーケストラ 秋の公演2019 オータムコンサート (第3回定期演奏会)	吹奏楽編成による楽曲演奏。クラシック、オリジナル、ポピュラー等、幅広い演目で楽しいステージを贈る	鶴岡ウインドオーケストラ	初のホール公演となる当楽団の第三回定期演奏会、気軽に吹奏楽を楽しんでいただきたいという企画のもと開催した公演は、没後二百年にあたる、オッフエンバックの天国と地獄で幕開け、多彩な演目を演奏した。沢山のお客様からご来場いただき、ほぼ満席・盛況のうちに終了することができ、演奏する者として、至上の喜びでした。	演奏精度・音楽性の向上を目指し、団員一丸となって練習に励むと共に、多くの方々から聞いていただけるよう、宣伝広告に力を注ぐと共に、解りやすい企画・コンセプトにてお客様と楽しい時間を共有できるようにしたい。
8	ViViバレエスタジオ バレエコンサート・小品作品集	ジゼル(Ⅱ)、ドンキホーテより。海賊ラバヤデールより。ゼエンツァーノの花祭	ViViバレエスタジオ	今回も昨年に引き続き、プロのダンサーをゲストに迎えての公演でした。華やかな舞台と違い、普段のダンサーの姿に、生徒は大いに感じる事があったと思います。今回初めて生徒は、トウシューズを履き舞台上に立ちました。	小学生の生徒は、3年前よりトウシューズを履き始め、今回初めて舞台上で踊りました。見ていただけの時と、実際履いた時では、随分違っていたと思いますが、より上達する様に努力してもらいたいです。
9	第41回記念 佳陽会日本画展	会員14名による日本画の発表。作品数は30点前後	佳陽会	会員減と会員の高齢化により、従来より作品数は減ったが、新作を目標に作品を展示した。会場も長方形の壁面となり、見やすいと入場者には好評だった。空間が広く、ゆったりした気分が鑑賞できた点は良かった。	従来と会場が変わり、入口が北側になったので、入口を間違えた入場者が数名いた。次回はやはり、東側の入口が良いとなったので、A会場を希望したい。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
10	一東書道会鶴岡支部畊雅会 37周年かな書作展	1.半紙:18枚 2.2尺×6尺:5枚 3.半切:8枚、 4.全懐紙:7枚 5.色紙額:4枚 6.他仮名古典	一東書道会鶴岡支部 畊雅会	毎年、仮名古典を学びながら、作品を充実させていく！ということを目指しておりますので、又、来年も同様に、そういう事で、作品も磨かれていく事と努力して、雅な作品を発表出来たらと思っています。	来年は、大字仮名から、細字仮名で、作品を書きたいと挑戦する気持ちが出てきている会員の人がいますので、早い時期から、来年に向けて指導して行こうと思っています。巻き物の卷子(かんす)本帖の(じょう)です。
11	表千家流茶会	表千家流茶会 2席	表千家同門会 山形県支部庄内地区	○茶券販売数、入席者数ともに昨年度を上回った。アートフォーラムで開催の遠州流茶会との相乗効果があったのではないかな。 ○観光客の入席が珍しかった。 ○致道館職員の協力があった。	○時期は10月がベストだが、他流の茶会や行事と重なりやすく、早くからの調整が必要である。 ○致道館会場の場合、タクトの駐車場が利用できるか事前に調べておくべきである。
12	遠州流茶会	遠州流茶会 2席	遠州流茶道山形支部	心配したお天気にも恵まれ、また他流と御一緒の日になったことで、そちらのお客様にも来ていただき良かったです。一階の席、なかなか声が通らず、聞こえなかったとの声がありました。	来年もアートフォーラムを使うなら、一階の利用方法など、一考しなければいけないと思います。また、茶道を未来に繋げるためには、若い人に興味を持っていただきたいです。
13	山形県大正琴・文化箏愛好会 山琴箏会(さきそうかい) 第31回公演	令和元年新たに山琴箏会(さきそうかい)と名称を変え、テーマを「楽」たのしむのもと、全7ステージを公演します	山形県大正琴・文化箏愛好会	令和元年テーマ「楽」たのしむを掲げ、全7ステージを公演しました。こどもから年配者まで、演奏者もお客様も楽しめるステージにこの思いで曲の構成を考え、生音にもこだわり長年育んできた演奏技術は素晴らしく、大成功だったのではないかと思います。	2020年テーマ「つなが・ル」、仲間とつながる、心がつながる。大切なあなたへ歌いつないでいこうとし、演奏にも幅をもたせ、楽しく、いろいろなジャンルの曲を演奏で、つないでいくステージにしていきます。
14	ハウオリフラスタジオ 14周年公演	ハワイ伝統舞踊 「Hulais Aloha」古典フラ・ 現代フラ・タヒチアン テーマ:Lokahi(調和)	ハウオリフラスタジオ	総勢85名のダンサーが前日から積極的に準備、片付けを行い、お互いの思いやりが感じられた。そして、皆が心一つに素晴らしい舞台に立てた事に感謝します。	15周年記念公演の開催に向け、準備を始めています。来年11月1日 荘銀タクト鶴岡にて行う予定です。多くの皆様にご来場頂きますよう、より一層精進して参りたいと思います。
15	フォトサロン写楽 写真展覧会	8名の会員が初の試みで、全倍1点と半切、全紙を展示する	フォトサロン写楽	今年度の写真展覧会は「それぞれの視点」をメインテーマに、会員それぞれの思いで捉えた作品です。「写真は伝えるもの」をコンセプトにした作品展を開催致しました。ご観覧の皆さまの心に伝われば幸いです。	来年度も「それぞれの視点」をテーマに被写体に迫り、心に響く作品を目指します。コンセプトは「伝える」。感動を覚えるようなシチュエーションを目指します。これからも、ご指導を賜ります様、お願い申し上げます。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
16	第30回 鶴岡和紙ちぎり絵サークル展	①会員による習作、創作。約70点の展示 ②幼児、児童の体験講座作品の展示	鶴岡和紙 ちぎり絵サークル	第30回の記念展で、会員が心に残った作品にメッセージを添えて展示し好評でした。体験講座作品も年々向上と工夫の結果が出て来ました。可動式壁面の有効な活用で、アートフォーラムの特徴を生かした展示が出来ました。	会員の高齢化等で人数も少なくなりましたが、力を合わせて展示入場者も多く感謝しております。今後はサークル会員の増加、体験講座等を通じて、若い世代に和紙の魅力を伝えていきたいと考えます。
17	第57回鶴岡市合同短歌会	「短歌の言葉あれこれ」という演題で講演し、漢字の誤用や使い分け、その言葉の意味など列挙して解説する	第57回 鶴岡市合同短歌会 実行委員会	日本の文芸の中で、古来からの文語短歌と、口語短歌に、表現の仕方が別れてきている現状に如何に対処すべきかが問題化している。先生は、そこに焦点を当て漢字の誤用や使い分け、意味などを解説された。	短歌における感情や事物の表現が、微妙にまた繊細化している短詩形文字において、益々表現方法の追及が求められている。今後とも、勉強の機会が欲しい。
18	裏千家 秋の茶会	お茶会 2席 (濃茶席・薄茶席)	茶道裏千家淡交会 庄内支部鶴岡地区	前日まで台風19号の影響が心配されましたが、無事に行うことができてホッとしております。茶席が2席ですので、待合のお客様が混雑せず、スムーズに入席できたと思います。	会場(出羽庄内国際村)を押さえるの大変でした。芸文協参加のお茶会ですので会場の日時を取りやすくして欲しいです。
19	第56回 各流派合同いけばな展	鶴岡市華道7流派が合同でいけばなを展示する 出瓶者数約200名の予定	鶴岡市いけばな7流派	7流派164名が各流派の特徴を生かしながら、各自の個性を発揮した多種多様な作品を展示し、2日間で2,626名の入場者の方々に「秋の色彩豊かな風情あふれるいけばな」を楽しんでいただけたと思います。	出瓶者が減少傾向にありますが、日本の古来から継承されている伝統文化の華道を、日々研鑽を積み、いけばなの魅力を次の世代に受け継いで行きたいと思いをします。
20	第32回 庄内なつメロ会 チャリティ発表会	1部生演奏による歌唱、2部テーマ構成と賛助出演による踊り、3部ゲストコーナーの3部構成。	庄内なつメロ会	今年は中央公民館での開催を予定していましたが、開催可能な日程が取れず止む無く荘銀タクト鶴岡での開演となり、周知のとおり利用料の高額と利用の不便さには泣かされました。	来年度の荘銀タクト鶴岡での開催は、自分達の能力と、費用の面でも全く無理と考えています。来年度は新たな出発を予定します。
21	八沢会 唄と踊りのつどい	民謡・民舞・新舞踊	八沢会	協会の規定、要項等を遵守すると共に、開場の際には整理券を発行し、スムーズに入場・着席させる事ができました。公演は、ほぼ満席で会主不在を感じさせませんでした。	
22	日本九重流朝暘清吟会 第140回大会 構成吟「親と子の情愛を詠ず」	親と子の情愛「親思う心、子思う親心を詠ず」短歌、長詩の未発表の作品を剣詩舞を加えた「構成吟」。ちとせ保育園園児による剣舞の披露	日本九重流 朝暘清吟会	発表時間に余裕があり、各人が詩心に合った表現をしていました。特に最後の全員による大合吟「母の心」は聴衆の皆さんに感動を与え、招待者の吟詠、ちとせ保育園児の剣詩舞、白虎隊も大好評でした。	来年度については協議中ですが、私案としては地域に関した構成を検討しています。また、プログラム冊子をもう少し増やすようにしたいと思います。芸文協係員の審査員増を希望します。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
23	第26回 庄内写真研究会写真展	参加会員7名で、 1人5点から 10点、半切から 全紙までの作品展示	庄内写真研究会	今年、令和元年と新時代に入り庄内写真研究会写真展は、26回目の発表会となりました。今回も、会員7名が独自のテーマに挑戦し独創的、個性豊かな作品を展示し、ご観覧の皆さんに情熱と感動を与える事が出来ました。 特に、北アルプスの山々朝夕の絶景と平成最後の桜等のご観覧の皆さんから大好評を頂きまして、大盛況に終わりました。	来年度も、会員各自が一層研鑽に励み感動を呼ぶ作品造りに専念し、会全体のレベルアップに努め、今年以上の発表会を目指したいと思えます。
24	NHK文化センター 写真教室写真展	写真約60点展示。 共通テーマ 「2019街」を展示。 開催中の1日ギャラリートークを行う	NHK文化センター 写真教室	今回初めての芸術祭への参加でした。芸文協の方々には、色々ご指導頂き感謝しております。写真教室の受講生が増え、当初予定より1人当りの作品数が減ってしまいましたが、来場者には喜んで頂きました。	展示スペースの拡大と、来場者に大変好評を頂いた「共通テーマ」の充実を考えていきたいと思えます。
25	第26回 飛雲会展	新作書道作品 60点	書道研究 飛雲会	例年と変わらず、会員が一年間精進してきた成果の作品発表会となりました。高齢化の進む中(90歳以上3名含む)新鮮で婉美な作品群が広い会場を優雅に引き立てていた事が、とても印象的でした。	体調不良を押して出品された会員もおられましたので、無理せず楽しんで頂ければと思います。意欲ある新人4名の参加がとても頼もしく感じられました。
26	如月会水墨画展	色紙から屏風の水墨画、 約40点展示	如月会	出品数は50点(昨年比-3点)色紙、10号~50号、軸、屏風4曲2点。全国展で上位入賞作品から習い始めの作品まで幅広く内容も充実した展示会となった。入場者は、初めての方、常連の方と多数でした。	習い始めの人を増やし、出品数を増やしていきたい。更なる内容の充実にも努めていきたい。
27	朝日俳句・短歌・川柳合同展	俳句・短歌・川柳の 作品展示	朝日俳句の会ほか	俳句部門においては、小中学生のほぼ全員から出品があった。なお、川柳や短歌は出品数が減少傾向にあるので、参加者の拡大が必要と考える。俳句266点、短歌3点、川柳17点で、趣向を凝らした作品が多かった。	今後も小中学生からは数多く出品してもらえよう各学校と連携していくとともに、今まで以上に俳句等に親んでもらえるよう、児童生徒への指導も行っていきたい。また、会員一同より一層の研鑽に励んでいきたい。
28	日本九重流鶴城清吟会 第43回吟詠大会	構成吟一題を剣詩舞とのコラボレーションと、会員の紅白吟詠を披露。書道パフォーマンスを織り込んだの公演。幼稚園児童詩の発表ほか	日本九重流 鶴城清吟会	「ふるさとを讃う」をテーマに一題の構成吟を公演した。構成吟では、「松ヶ岡開墾に詠う」を発表し、旧庄内藩士が刀を鉾に替えて、大原生林を開拓したことを、第一章では開拓の歴史、第二章では開拓の日々を詠った漢詩・短歌に書道を織り込み、当時の状況・思いを振り返り、吟と調和した舞台を演出し、会場を引き付けた芸術性高い公演であった。	多くの会員が参加できる態勢と日頃の研修を充分発揮できるように練習を工夫し、総力をあげての公演にする。来場の市民に感動していただけるような演出にしたい。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
29	第7回 フォト・アイ写真展	会員8名、各自がテーマを設定し、年間を通して撮影した作品の中から7点を選び、合計56点を展示する	フォト・アイ	多くの方々にご覧いただき、貴重な感想や意見を賜り、大変有難く思いました。今年は、会場の中の仕切りをなくして、広く展示したので大変見やすかった。閉館時刻を30分短縮したのも有効であった。	会員をもっと増やすとともに、研修の内容も深めて、多くの方々に喜ばれるような写真展にしたい。
30	みんなの音楽会 「鶴岡放送児童合唱団 定期演奏会」	I 「歌の花かご」 II 二部合唱組曲 「いのちの寓話」 III 音楽劇 「ないた赤おに」	鶴岡放送児童合唱団	晴天に恵まれ、小・中学生の来場も多く、418名の観客を迎え、熱気あふれる演奏会となった。難度の高い音楽性に富んだ組曲、そして名作「ないた赤おに」の音楽劇は非常に好評だった。多彩な演奏が求められ実りある演奏会となった。	来年、主力の中学2年生7名が最終学年を迎える。このメンバーを中心にさらに充実したステージを作り上げるための選曲を大切に、また新団員の獲得に努め、団の活動が子どもたちのさらなる育成に繋がるように努めたい。
31	吉続舞踊学園 現代舞踊公演	現代舞踊 (モダンダンス)の公演 一部、二部の構成で、東北 合同公演出品作品も加える	吉続舞踊学園	今年は9月に現代舞踊協会東北支部の合同公演を開催し、その盛会を受けて発表会も大成功だった。特に練習生の成長に目を見張るものがあり、質の高い作品、舞台を創る事ができた。観客の皆様が熱心に見て下さり、良さを実感していただき有難く思っています。	さらに努力精進を重ねて、学園生共々、望ましい成長を続けたい。
32	鶴岡吹奏楽団 第35回定期演奏会	鶴岡吹奏楽団による、吹奏 楽の名曲や耳なじみのある 曲の演奏 指揮:小塚 類	鶴岡吹奏楽団	今回は荘銀タクト鶴岡での2回目の定期演奏会でした。2020年に開催される東京オリンピックをテーマに選曲し、来場されたお客様も参加できるようなイントロ当てなどを企画して、皆様に喜んで頂きました。	これからも「鶴吹」の愛称で地域に根ざす社会人吹奏楽団として、オーケストラとは違った吹奏楽の力強さや温かさ等の魅力を表現し、地域の吹奏楽の発展に貢献できますよう、より一層精進して参りたいと思います。
33	秋季さつき盆栽展	さつき盆栽 出展数85鉢	鶴岡さつき盆栽研究会	秋季展の見どころは、鉢と樹形による全体の景色です。減少する会員で例年同様の展示会となった事、遠方からの来場者から作品全体がきれいであるという感想をいただき、盛況のうちに終える事ができました。	好きで長年続いたきた会なので、来年度も同様に努力する事、さつきの花や盆栽の素晴らしさを作品を通して伝えたいと考えています。できれば、盆栽を好きな方、また若い方を会員として歓迎したいものです。
34	劇団だいこん座 第79回公演「ゆめのしろ」 ～少女が変えた奇跡の物語～	名作絵本がお芝居に。子どもから大人まで楽しめる舞台です	劇団だいこん座	「ゆめのしろ～少女が変えた奇跡の物語～」という、当初予定していたものを急遽変更して上演しました。練習不足をランチームの結束力でカバーし、どうにか満場の拍手をいただき幕を下ろす事ができました。	今年は、高校1年生の女子2名が入団し、活気がさらに増しました。このところ他団体も人員確保のむずかしさに直面しているようですが、魅力ある団体としての活動に精進してまいりたいと思います。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
35	表現舎刻一刻 第18回公演 新・曾根崎心中	原作 近松門左衛門・脚本 鐘下辰男・構成演出 佐藤 正一 表現舎版一恋の反逆が今 始まるー	表現舎刻一刻	古典の原作を脚本、更には現代風にセリフ、小道具等アレンジをし、若い人にも親しみやすくなりました。舞台装置もシンプルにしてスピーディーな転換になるよう構成をし、面白さと迫力のある舞台を目指しました。	表現舎旗上公演から来年で30周年を迎えます。時代は令和に変わり、過去の歴史等振り返る時、新しい時代も戦争のない平和な世の中であってほしいと願います。そんな思いを込めた作品を創っていきたいです。
36	宝生流 観世流合同謡曲大会	宝生流・観世流の素謡、 仕舞、囃子	宝生流鶴岡五雲会 庄内謡曲愛好会	日本の伝統文化である能楽の流派を越えて一同に会し、日頃の稽古の成果を発表し合うことは、大変意義のあることと思われます。予算(会費)の立て方が甘かったのが反省点です。また、入場者が少ないのはPRの不足と思われます。	黒川能など能楽の盛んな土地にふさわしく、なお一層の研鑽に努めてまいりたいと思います。会員の高齢化は否めませんが、会員の増加と入場者数の増加につながるべく方策を考えてまいりたいと思います。
37	バウムクーヘン オータムコンサート	各種音楽コンクール受賞 者、音楽を専門に学ぶため の 受験生や、その大学生による ピアノ・声楽・器楽演奏	バウムクーヘン	今年の公演には、幼児から大学生までの104名出演し、かわいらしい小品から聴きごたえのある曲まで、多彩に、個性あふれる演奏を披露することができました。このステージが出演の目標や励みになっていると思います。	子供たちの憧れやときめくステージになるよう、そしてこの経験を土台とし更なる飛躍につながるよう、バウムクーヘンとして支えていきたいと思えます。また、音楽文化の向上を目指して努めていきます。
38	鶴岡剣聖会 「剣と扇の舞」	剣聖流剣詩舞の魅力がステージいっぱいこに繰り広げ ます。 剣聖流剣詩舞数百の中から 選び抜いた20演目を公開	剣聖流剣詩舞 鶴岡剣聖会	創流依頼42年、数百の演目を令和の時代にどう「繋げる」かを課題にし、2時間・23演目を選定し、観客目線で企画した。年々観客数が増えていることを、公演を期待されていると自負している。衣装の工夫をはじめ、全て手づくりである。ステージと観客との心の「繋がり」令和への「繋がり」鶴岡文化づくりへの「繋がり」終演後の見送り時に「来年また楽しみにしているよ」の言葉が大勢の方から聞かれた。	鶴岡の文化づくりのために鶴岡剣聖会「剣と扇の舞」を一人でも多くの方々々に喜ばれ期待されるように努力していきたい。剣聖流剣詩舞の魅力が高めるため技を磨き、より効果的に表現するため衣装の工夫とプログラム編成に力を入れたい。
39	第12回 写団はぐる会員写真展	旅行、風景、祭事、スナップ の写真、会員8人一人8点前 後で展示	写団はぐる	各自のテーマで撮影したものを、会員同士の意見を得て写真の選択をした。作品題名に間違いを指摘され作品作りへの突っ込み不足を気付かされた。雪降る天候悪い時節、何度も来てくれた方、写真談義に熱演、肩の凝らない写真展に心温まる交流の場となった。	フィルムカメラからデジタルカメラへ写真環境の変化も当たり前となった。カメラを理解し基礎を固め経験を反省しながら変化する社会の中での写真の在り方、庄内地域を意識したテーマ、とらえ方を考える、生涯学習の場とし写真を続けていきたい。
40	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ 第20回定期演奏会	ビッグバンドジャズ演奏 第1部ビッグバンド、第2部ゲ ストボーカルを迎えてのステ ージ	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ	ダイナミックなビッグバンドジャズが好きで集うこと30年。やはりそれでも目玉となるボーカルが居ないと、集客が難しいことを再認識しました。演奏は良い出来で満足はしています。	今年は定期演奏会として20回目の節目の開催でした。今年の反省を基に来年は、千客万来を目指して企画を練り直します。

5. 各地域文化祭(芸術祭協賛事業)実施状況一覧

地域	事業名	実施日	会場	参加者 (出品者) 数	作品数	入場者 (延)数	
藤島	第48回藤島芸術文化祭	芸能発表部門	10/27(日)	藤島地区地域活動センター 大ホール	80	20	300
		展示部門	10/25(金)~10/27(日)	藤島地区地域活動センター	103	252	1,000
	第30回ふじしま音楽祭	11/2(土)	藤島地区地域活動センター 大ホール	510	15	1,300	
羽黒	第35回はぐろ秋まつり芸術文化祭	芸能発表会	11/3(日)	羽黒コミュニティセンター	178	20	320
		作品展	11/2(土)~11/4(月)	羽黒体育館アリーナー	835	1,233	550
櫛引	第50回くしびき文化祭	研修部門	10月6日(日)	東根市	10	—	—
		展示部門	11月1日(金)~4日(月)	櫛引生涯学習センター	523	718	1,259
		まなびいステージ	11月18日(日)	櫛引生涯学習センター	14団体 142名	14演目	400
朝日	令和元年度あさひ産業文化まつり	芸能発表部門	10/26(土)・11/3(日・祝)	あさひ小学校体育館・朝日中 学校体育館・朝日中央コミュ ニティセンター大集会室	368	23	450
		作品展示部門	10/26(土)~11/4(月)	朝日中央コミュニティセンター	950	1,056	1,250
温海	令和元年度(第36回)温海文化祭	ステージ部門	11/3(日・祝)	温海ふれあいセンター	109	651	400
		展示部門	10/25(金)~11/4(月)	温海ふれあいセンター	444	651	1,000

6. 各地域文化祭(芸術祭協賛事業)の反省点と来年度への抱負

地域	事業名		感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
藤島	第48回藤島芸術文化祭	芸能発表部門	各団体からの協力でスムーズに運営できた。 新しく1団体1個人が加入したことにより昨年度より多彩な演目が発表された。 展示部門出展者より作品を寄贈していただき行っている毎年恒例となった抽選会も好評であり、今後も継続していきたい。	出演者も観客も楽しめるよう内容を更に充実させ、芸能発表会を継続していきたい。 さらに多くの観客から鑑賞していただけるようPR方法を検討し、集客に努めたい。
		展示部門	高齢化により準備・片付けに苦労しているが、芸能部門会員等の協力を得てスムーズに行うことができた。 昨年より出展数は減少したが一般出展者の増加により、多彩な作品で来場者の目を楽しませた。また、年々完成度が高い作品になっていると来場者より好評を得ている。	多くの団体で会員の減少と高齢化が問題となっているので、会員増加・団体の新規加入を促進していきたい。 さらに多くの方から出展いただけるよう一般の方々への参加の声かけを増やしてしていきたい。
	第30回ふじしま音楽祭		実行委員、中高生ボランティアの協力により、全体的にスムーズな運営だった。 30周年記念事業として園児から大人までの出演者による合同合唱、30周年記念パンフレットの配布、記念交流会を行い、例年以上に盛り上がった素晴らしい音楽祭となった。また、地域の方々の繋がりも密になった。	節目ということで合同合唱や小中合同バンド等を行ったが、来年度もより充実した内容で観客・出演者共に楽しめる音楽祭となるよう企画運営していきたい。
羽黒	第35回はぐろ秋祭り 芸術文化祭	芸能発表会	昨年度よりも出演団体が2団体増え、1団体は新たに芸文協に加入した団体、もう1団体は羽黒小伝統芸能クラブと新しい分野の発表に会場も盛り上がった。各団体の日頃の練習成果を十二分に発揮した趣向を凝らした発表にたくさんの観客に楽しんでいただくことができた。	より多くの観客に鑑賞していただくよう、関係機関と連携しながらPRに努め、さらに充実したステージになるよう取り組んでいきたい。
		作品展	保育園、小中学校をはじめ、羽黒高校や芸術団体、個人の作品が多数出品され、また、地域交流作品として藤島芸術文化協会に所属する小林功氏の絵画も展示することができ、見ごたえのある展示となった。	個人等一般作品の出品者数、作品数ともに昨年を上回った。今後も多くの方に出品いただけるよう、来年度も実行委員を中心に地域の方々に声掛けをしていきたい。

地域	事業名		感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
榎引	第51回くしびき文化祭		<p>研修部門 「文化財めぐり」</p> <p>前年度と比べると参加人数が減ってしまった。事前の下調べとして現場に赴き、当日のガイド担当者と丁寧な打ち合わせができた。当日はETCカードを市職員から借りることを失念しており、時間調整で参加者やガイド担当にご迷惑をかけてしまった。昼食会場は自分で探した会場が大変好評。開催直前で旅行保険料が改定し慌てる事態となった。</p>	<p>参加人数が前年より半減したこともあり、周知に力を入れる。旅行保険料の改定で、参加者にいただく会費で賄っていた部分を事業費込で考えるようにする。今年も天候に恵まれていたが、散策が主であったことを考えると悪天候の場合の想定を考えておく。ここ2年は村山地方を続けて訪れていたもので、別の地域に行くことも考えたい。</p>
			<p>展示部門</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉施設の作品展示では利用者の作品を発表する場ができたこと、とても喜んでいただけた。 鶴岡南高等学校山添校と協力し消しゴムハンコを使用したトートバッグ作りのイベントを行い来場者に喜ばれた。 おさがりの子供服を集めて必要な方に無料で提供する「おさがりボックス」のイベントを行い大盛況だった。菊鉢、ちぎり絵等久しぶりに展示していただいた物もあり良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 期間中に行ったイベントが好評だったので来年度もイベントを企画し集客につなげたい。 少子化の影響で保育園、小中学生の作品が少しずつ減っているため地域内で活動している方に声をかけ出展数を増やしていきたい。
			<p>まなびいステージ</p> <p>丸岡桐箱踊りとどんづき保存会の参加はなかったが、榎引中学校と榎引西小のプラスバンドや地域のサークル等が参加し、楽しい催しとなった。センターの利用団体にも出演の声掛けをし、ギター演奏とバトントワリングの2団体に参加いただいた。お客さんは去年よりも多かった。小中学校の父兄だけではなく、広く地域の方々の集う催しになりつつあるようだ。参加団体にとっても、日頃の練習の成果を知ってもらう機会となるので喜んでいただいた。</p>	<p>広く文化関係者の参加した実行委員が催しを主催しているので、もっと実行委員の活躍の場を作り、住民参加の催しになるようにしたい。また、出演団体についても、声掛けをして参加団体を増やしていきたい。</p>

地域	事業名		感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
朝日	令和元年度 あさひ産業文化まつり		<p>10月26日のあさひ小学校学校祭では、学年ごとにダンス、劇、合奏、合唱の発表があり、また朝日中学校合唱祭では、学年ごとの迫力ある歌声、美しいコーラスが響き、それぞれ聴衆を魅了した。11月3日には朝日芸術文化協会加盟団体等による10団体14演目の芸能発表が行われ、和太鼓や神楽、舞踊、民謡、詩吟、コーラス、ダンスなどの発表を、出演者、観客ともに楽しむことができた。</p>	<p>地域のサークルや団体が日頃の成果を発表し、地域住民が文化活動に触れる良い機会であるため、さらに充実したステージとなるよう努めていきたい。 また、あさひ小学校学校祭と朝日中学校合唱祭は、あさひ産業文化まつりのプログラムに加わっており、小中学生の学習の成果を地域住民に披露、鑑賞してもらう良い機会となっている。</p>
			<p>今年度も書道・絵画・俳句部門に小中学生ほぼ全員から出品があり、児童・生徒の作品の鑑賞に家族等の来場者も多かった。また、俳句・短歌・川柳合同展や、写真、生け花、創作品等の展示など多彩な作品展示を行うことができた。</p>	<p>小中学生の人数の減少などにより出品数が減少傾向ではあるものの、小中学生が学習の成果を発表し、地域住民がその作品を鑑賞する良い機会であり、今後も各学校と連携を取りながら取り組んでいきたい。また、一般の作品についても芸文協加盟団体等と協力しながら、広く地域の方々からの出品が得られるよう努めていきたい。</p>
温海	令和元年度(第36回) 温海文化祭		<p>日頃の活動の成果を発表する良い機会であり継続して開催していく。ステージプログラムの改編なども行っているが、参加者からも理解が得られれば、大胆な改編も考えている。今年度は、6月18日に発災した、山形県沖地震の影響により、温海ふれあいセンターホールが被災したため、開催も危ぶまれたが、ロビーを会場に見立て、パフォーマンス発表を行った。毎年参加している団体も出演を見合わせた。新しい出演者もあり、当日は好評であった。</p>	<p>今年の文化祭については、山形県沖地震の影響により開催の可否も検討したが、文化の発信を行うことにより、地域の活性化を図ろうと実行委員会でも話し合われた。 展示物が年々少なくなっているが、PRを行い、敷居が高くないように、個人の出品が増えるように努力したい。</p>
			<p>作品数が減少していることもあり、展示スペースについて若干コンパクトにまとめてみたところ、反響が多数あった。 今後も管内の各種団体と連携して文化祭のあり方も含め、空間づくりを務めていきたい。 お茶会については、担当団体が、参加できなかったこともあり、呈茶形式で実施した。</p>	

7. 鶴岡市芸術祭参加公演数等の推移

参加公演

年度	鶴岡市芸術祭					県民芸術祭		参加公演数 地域別内訳					
	回数	参加公演数	参加団体数	参加者数	入場者数	参加公演数	参加団体数	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海
平成18年度	第1回	39	54	4,224	34,689	17	23	39					
平成19年度	第2回	44	61	4,440	36,505	26	38	39	2			3	
平成20年度	第3回	49	68	4,586	41,649	26	38	42	1	1	2		3
平成21年度	第4回	46	67	4,369	36,421	32	46	39	3	1		1	2
平成22年度	第5回	47	67	4,010	35,874	31	43	41	2	1		1	2
平成23年度	第6回	44	63	3,748	31,984	26	38	38	2	1		1	2
平成24年度	第7回	46	63	3,411	31,277	33	46	40	2	1	1	1	1
平成25年度	第8回	46	66	3,569	34,556	31	43	40	2	1	1	1	1
平成26年度	第9回	39	49	3,327	24,962	27	36	34	1	1	1	1	1
平成27年度	第10回	42	51	3,316	25,050	26	32	37	1	1	1	1	1
平成28年度	第11回	45	55	3,351	23,129	29	38	41	1	1		1	1
平成29年度	第12回	42	52	3,266	22,688	27	35	39		1		1	1
平成30年度	第13回	40	49	3,223	24,782	26	34	37		1		1	1
令和元年度	第14回	42	51	3,070	24,309	28	36			1		1	1

第14回鶴岡市芸術祭における施設別公演等開催状況

施設名称	参加公演数	参加団体数	参加者数	入場者数	備考
①中央公民館	12	12	440	4,224	展示(3)・公演(9)
②荘銀タクト鶴岡	8	8	417	4,918	公演(8)
③アートフォーラム	13	19	1,682	13,256	展示(12)・茶道(1)
④市内の上記以外公共施設	6	9	454	1,286	展示(1)・茶道(2) 公演(1)・文芸(2)
⑤その他(民間施設等)	3	3	77	625	公演(3)
合計	42	51	3,070	24,309	

協賛事業(地域文化祭)

	鶴岡市 芸術祭	藤 島		羽 黒		櫛 引		朝 日		温 海	
		参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数
平成18年度	第 1 回	211	1,200	1,287	2,200	1,317	1,774	1,247	1,700	1,003	1,990
平成19年度	第 2 回	172	1,200	1,000	1,390	866	2,022	1,254	1,900	1,164	2,200
平成20年度	第 3 回	636	1,360	915	1,200	809	1,755	1,135	1,900	1,032	2,350
平成21年度	第 4 回	678	1,451	965	727	708	1,692	1,034	2,000	1,138	2,200
平成22年度	第 5 回	705	1,545	1,038	1,146	794	1,665	766	1,950	1,063	2,300
平成23年度	第 6 回	674	1,820	1,224	941	672	1,482	639	1,850	965	2,500
平成24年度	第 7 回	639	1,930	1,022	893	702	1,229	701	1,850	993	2,500
平成25年度	第 8 回	639	1,780	1,022	995	721	1,110	701	1,850	979	2,200
平成26年度	第 9 回	529	1,700	1,024	842	671	1,289	872	1,705	905	2,200
平成27年度	第10 回	516	1,780	957	728	638	1,340	1,205	1,800	779	1,800
平成28年度	第11 回	489	2,470	949	800	698	1,111	1,193	2,250	891	2,250
平成29年度	第12 回	517	2,270	1,062	740	664	1,287	1,213	2,100	644	2,250
平成30年度	第13 回	522	2,605	1,005	920	694	1,451	1,439	1,800	703	2,250
令和元年度	第14 回	693	2,600	1,013	870	675	1,659	1,318	1,700	553	1,400

8. 記念事業など

年度	芸術祭回数	分類	公演名等
平成24年度	第7回	賛助公演	第49回現代舞踊合同公演(主催:社団法人 現代舞踊協会東北支部)
平成25年度	第8回	特別参加事業	鶴岡市芸術文化協会創立50周年記念事業 ～ありがとう!明日にむかって～ (主催:鶴岡市芸術文化協会) ◎総合舞台『美しい山河 ここに生命輝く』 ◎総合芸術展『文化と伝統・自然の香り豊かに』
平成27年度	第10回	プレイベント	第10回鶴岡市芸術祭記念プレイベント「まちなかアート鶴岡」
		協賛事業	鶴岡市合併・市制施行10周年記念事業 鶴岡市芸術祭協賛事業 地域文化祭交流ステージ(展示) 藤島:錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部、羽黒:黄雞鶴岡歌会、櫛引:鶴岡吹奏楽団、朝日:白甕社、温海:鶴岡竹友会
平成28年度	第11回	関連イベント	第36回全国豊かな海づくり大会協賛イベント 「海づくりアート鶴岡」～海・山・川～今年も響くアートの風! (主催:全国豊かな海づくりアート実行委員会)
平成29年度	第12回	関連イベント	第3回まちなかアート鶴岡 (主催:市民アート実行委員会)
平成30年度	※第56回 県民芸術祭	記念事業	平成30年度 第56回県民芸術祭開幕事業 (H30年9月2日(日) 荘銀タクト鶴岡 エントランスホールおよび大ホール) ◆オープニングセレモニー <展示・呈茶・歓迎アトラクション> エントランスホール 10:00～ ◆開幕式典および開幕記念公演 総合舞台『水のファンタジー いのちの輝き』 大ホール 13:30～ 主催:山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・山形県芸術文化協会 鶴岡市・鶴岡市教育委員会・特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会
	第13回	賛助公演	第14回洋舞合同公演(H30年7月29日(日) 荘銀タクト鶴岡) 主催:山形県洋舞協会 2018年全日本大正琴振興会全国大会(H30年9月15日(土) 荘銀タクト鶴岡) 主催:2018全日本大正琴振興会全国大会実行委員会
令和元年度	第14回	賛助公演	現代舞踊協会東北支部 第56回「現代舞踊合同公演」(R元年9月22日(日) 荘銀タクト鶴岡) 主催:一般社団法人 現代舞踊協会東北支部

《主催》

鶴岡市教育委員会
特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会

《後援》

致道博物館
鶴岡商工会議所
荘内日報社
山形新聞・山形放送
朝日新聞山形総局
毎日新聞山形支局
読売新聞山形支局
河北新報社
NHK山形放送局
山形テレビ
テレビユー山形
さくらんぼテレビ



ポスターデザイン

白麩社 松平一民氏

第14回(令和元年度)鶴岡市芸術祭参加公演総括表

令和2年2月作成

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会 事務局
〒997-0346 鶴岡市上山添字文学100 鶴岡市櫛引庁舎内
TEL 0235-57-2008 FAX 0235-57-2117
e-mail tsurugeibun@tiara.ocn.ne.jp